

## フットベースボール競技実施要領（知的）

### 1. 競技規則

平成31年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（（公財）日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

### 2. チーム

チームの構成は、監督1名、コーチ2名、選手15名以内とし、男女は問わない。

### 3. 競技方法

- (1) 試合は、参加チームによるリーグ方式とする。ただし、主催者の判断によりトーナメント方式とすることができる。
- (2) 試合は、7イニング制とし、試合開始後60分を経過した後は、新しいイニングに入らない。また、同点の場合は、最終出場選手9名の抽選により決定する。
- (3) コールドゲームは、4回以降10点差とする。
- (4) 試合球は、サッカーボール（小学校教育用ゴム製4号球）とする。
- (5) 1回で5点を取った場合、その時点で攻守を交代する。
- (7) 指名選手（DP制）、再出場（リエントリー制）を採用する。
- (6) その他、監督会議において申し合わせ事項を設けて競技することができる。

### 4. 服装等

- (1) 金属製のスパイクの使用は、禁止する。
- (2) 同一チームの監督、コーチ及び選手は、同色・同意匠のユニフォームを着用しなければならない。また、男子は同じ帽子を着用しなければならない。
- (3) ユニフォームの背中に登録番号をつけなければならない。  
なお、数字の大きさは、15cm四方以上とし、監督は30番、コーチは31・32番、主将は10番とし、他の選手は1～99までの番号とする。胸下の番号は各チーム一任するが、つける場合は全員とすること。
- (4) 危険防止のため手袋を使用してもよい。ただし、投手が使用する手袋はボール以外の色でなければならない。

### 5. 組合せ

組合せは、事前に開催する監督会議の場において決定する。開催日時は別途参加チームに連絡する。

### 6. 打順表

打順表は5部作成し、試合当日の監督会議にて提出する。

攻守順の決定は、打順表提出時に審判員立会いのもと、「コイントス」によって決定する。

なお、打順表は、事前に開催する監督会議の場において配布する。

## 7. その他

- (1) ベンチは、組合せ表の番号が若いチームを一塁側とする。
- (2) ベンチ内へは、選手、監督、コーチ以外は入場することができない。
- (3) 組合せ抽選の1番のチームの主将が選手宣誓を行うこととする。